

▼旭本町商店街 大正時代、従業員が激増した播磨造船所は多くの社宅を建設。旭本町商店街は社宅の売店組合からスタートした。戦後すぐに大火にあったが復興し、昭和36年にはアーケードが建設された。造船所の従業員などで、特に朝夕は多くの人で賑わった。(相生市・昭和44年)



▲枝条架が並ぶ東浜塩田 赤穂の塩田は、千種川を境に大きく「東浜」「西浜」に分かれており、江戸時代、東浜塩田は赤穂独特の「差塩」を大量に生産し全国に名を馳せた。それまでの入浜式塩田から、竹の枝を組んだ「枝条架」が特徴の流下式塩田となったのは昭和33年のこと。それも同40年代には廃止となり、現在、東浜塩田は住宅地や公園に姿を変えている。(赤穂市・昭和35年頃)

特色  
**3**

わかりやすい解説や  
身近な話題が満載！

特色  
**4**

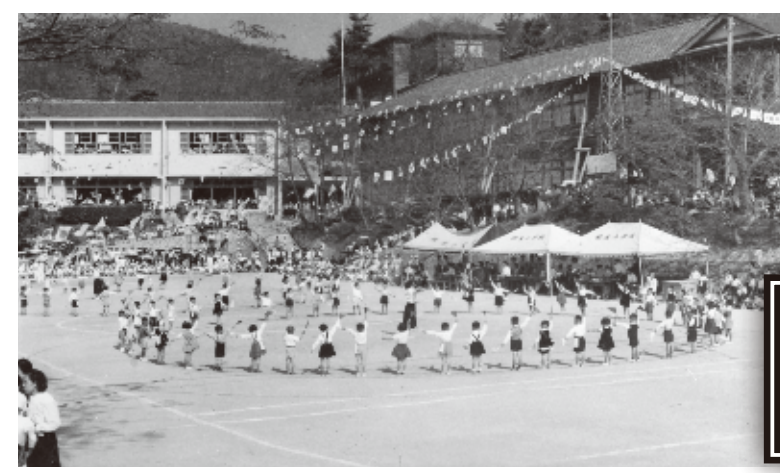
ご家族、ご近所  
ご友人、みなさまで  
楽しめる！

▶佐用小学校下の街並み  
文具店や旅館などが軒を連ねる通りを、晴れ着姿の母親と子どもたちが行く。小学校での式典の帰りだろうか。今は出雲街道(国道179号)も拡幅されバイパスとなり、街並みは大きく変わっている。(佐用町・昭和40年)



特色  
**1**

懐かしいオリジナル写真  
約600点を厳選収録！



特色  
**2**

胸が熱くなる思い出の  
情景がよみがえる！

▲相生小学校の運動会 相生小学校は明治5年の開校。戦前には尋常科・高等科合わせて児童数3,000人弱というマンモス校だったこともある。木造校舎は大正13年に建てられた。中央にバルコニー付玄関が設けられた立派な校舎だったが、昭和33年に老朽化のため取り壊された。(相生市・昭和30年代初頭)

▶坂越港に停泊する水道丸 坂越は古くからの港で、近世には、赤穂の塩や、千種川を下ってきた物資の積み出し港として栄えた。中央の船は家島(現姫路市)へ飲料水を運ぶ「水道丸」で、1日に3回出航していた。坂越港のようすは、埋め立てが進んだことにより当時とは変わっている。(赤穂市・昭和42年)

